

シラバス(理数科)【ホームページ・ガイダンス用】

科目名	SS課題探究Ⅱ	学年	3	使用教材	教科書	なし	
		必修修の別 (必・選必・コース選)	必修		副教材	なし	
学科	理数科	単位数	1				
系統科目	SSリテラシー(1年)、SS課題探究Ⅰ(2年)						

【学習目標】

- 研究対象となるテーマに対し、数学・理科・情報分野の知識を用い、疑問点を解明しようとする。
- 様々な事象に関わり、理系的な見方・考え方を行うことで数学・情報・理科4分野の中から課題を設定し、その解決を図る。
- 主体的に仮説設定や検証実験を行い、課題解決を図ったことをもとに科学的に表現する。

【学習方法のポイント】

○3年生は、課題探究Ⅰの継続研究とし、課題探究Ⅰで行った研究について論文(和文または英文)を作成する。優秀な研究については各種科学作品展に出品する。

○個人またはグループによる研究を通して探究活動を進め、研究の成果物(パネルやレポート)やその研究過程(日々の提出物)をもって評価する。評価項目には主体的・協働的で計画的に学習をすすめているかなどを判断し評価する。

○物理・化学・生物・地学・数学・情報の6領域から1領域を選び、解明したい(調べたい)疑問点に仮説を設定し、仮説の検証を行うことで得られた結果を基に、まとめ考察を行い論文を作成すること。

【学習評価と観点】

- 次の4つの観点に基づき、学習内容のまとめりとともに下記の評価マトリクスにより評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。

①関心・意欲・態度	テーマ設定、仮説設置及び検証実験や日々の学習活動について主体的・意欲的に取り組んでいるかを、記録用紙や学習態度により評価する。					
②思考・判断	日々の学習活動において、当初設定した研究計画や作業工程に沿って計画的に活動しているか、また的確な状況判断の下に改善が行われているかを鑑み評価する。					
③表現・処理	学習活動において得られた成果について記録を残し、またその成果を他者と共有するために積極的に話し合う態度や報告会等で発言するなどの態度を評価する。					
④知識・理解	実験器具やコンピュータソフト(表計算・ワープロ・プレゼンを含む)を適切に使用し、また得られたデータから適切な考察を導き出すなど能力や態度について評価する。					
	評価方法／観点	①	②	③	④	備 考
	学習状況観察	◎	◎	—	◎	
	ノート・ワークシート	—	—	—	—	
	レポート(論文)等	○	◎	◎	○	日々の記録用紙を含む
	単元テスト等	—	—	—	—	
	定期考査	—	—	—	—	

※表中の◎は観点の中でより重視するところです。

Classi等を活用することで、自らの学習状況をチェックし、目標達成に努めましょう。

【定期テスト範囲(目安)】※追加・変更することもある。

定期テストなし(論文等の成果物で評価を行う)。

【学習サポート】